

Elazzio

SEAT COVER



NISSAN NOTE AURA

専用シートカバー取付説明書



SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項 ……> 1P～2P

警告 サイドエアバッグについて ……> 3P～4P

1 列目座面の装着方法 ……> 5P～7P

1 列目背もたれの装着方法 ……> 8P～12P

2 列目座面の装着方法 ……> 13P～16P

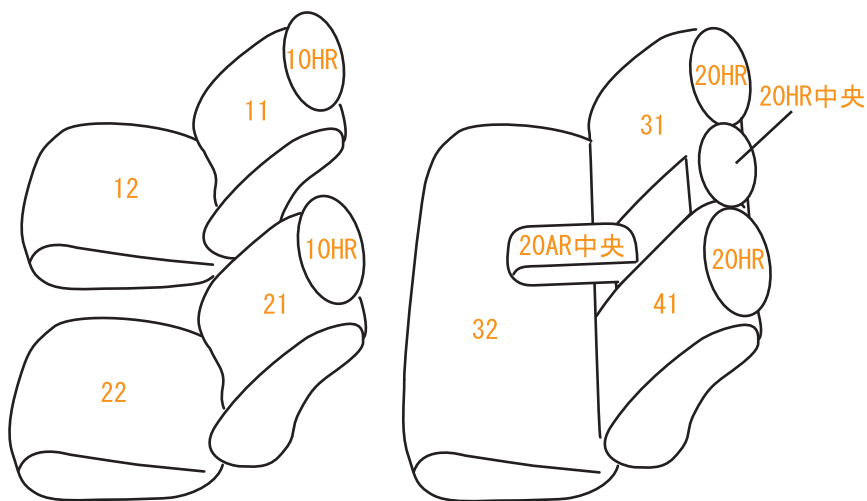
2 列目背もたれの装着方法 ……> 17P～19P

ヘッドレストの装着方法 ……> 19P～22P

アームレストの装着方法 ……> 23P～24P

アフターサービスと生地別メンテナンス方法 ……> 25P～26P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



① クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
 - ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
 - シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
 - 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
 - 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
 - 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
 - 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。
- またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適 空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



- 1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



- 3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。
その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



- 2 シートを上から見た状態です。
通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



- 4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。
この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。
SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることになります。
位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

Step 1

1 列目座面の装着方法



- 1 始めに、シート後ろ側から底面を覆っている生地を取り外します。生地はシート底面の金属部分にゴムで固定されています。



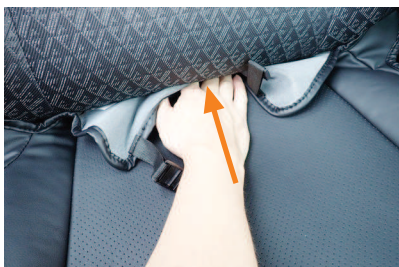
- 4 入れ込んだ生地をシート後ろ側から引き出します。



- 2 シートのラインに合わせて、カバーをかぶせます。



- 5 カバー外側面の生地に付いている固定部材を、ヘラ等を使用し、シートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行ってください。



- 6 リクライニングレバー付近の生地は、図のようにシートの隙間に入れ込みます。



- 7 カバー内側面の生地についている固定部材を、シートの隙間に落とし込みます。
※固定部材でコンソール部分を傷付けないよう、注意して下さい。



- 10 ブラックの固定が外れた状態で、図のようにシート外側向きに純正生地ごとブラックを取り出します。



- 8 7番で落とし込んだ固定部材は、シートに直接固定しますが、固定前に純正生地を固定しているブラックを取り外す必要があります。図は、説明の為に、助手席シートを車体から取り外した状態です。シートベルトバックルの下あたりに純正ブラックが固定されています。



- 11 7番で落とし込んだ固定部材を、純正ブラックが固定されていた位置に引っ掛け固定します。外した純正ブラックは、カバーの内側に入れ込みます。



- 9 図のように、純正ブラックをシート内側に押し込むようにするとブラックの固定が外れます。



- 12 固定部材を正しく固定すると、このようになります。
運転席側の内側面形状は、若干異なりますが、助手席側の説明を参考に、同様に取り付けます。



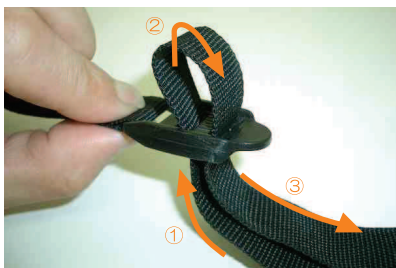
- 13 運転席シート内側面は、このようになります。



- 16 4番で引き出した生地についているバックルに、15番で引き出したベルトを通し、固定します。



- 14 シートベルトバックル付近の生地を、図のようにシートの隙間に入れ込みます。



- 17 ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、前後に引く事でベルトが締め固定されます。
ベルトを強く引き過ぎると、ベルトが切れたり、生地が破れる恐れがありますので注意して下さい。



- 15 カバー前側に付いているベルトを、シート下を通し、後ろ側へ引き出します。この際、ベルトはシート下の金属部の上側を通すようにして下さい。



- 18 カバーのラインを整え、1列目運転席座面の完成です。助手席も同様にに取り付けます。

Step 2

1 列目背もたれの装着方法



注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。

車種やグレードにより、ヘッドレストがシートから取り外せないシートがあり、シートカバーの装着方法が一部異なります。

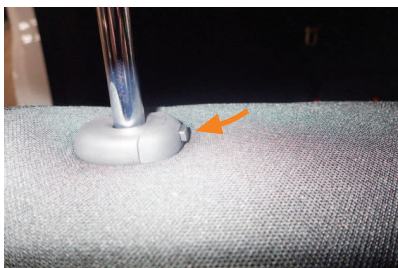
- ヘッドレストが取り外せるシートは、品番：5312
- ヘッドレストが取り外せないシートは、品番：5313

品番：5312

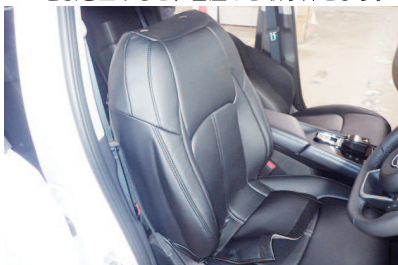


- 1 始めに、ヘッドレストを取り外します。ヘッドレストを正面から見た状態で、①右側の台座のスイッチを押しながら、ヘッドレストを一番上まで引き上げます。

※ヘッドレストが取り外せないシートは、7番以降の説明を参照して下さい。



- 2 ヘッドレストが上がり切ると、左側の台座の内側（1番の②参照）からスイッチが飛び出します。このスイッチを押しながら、ヘッドレストを引き上げると、台座から取り外せます。



- 3 カバー両側面に付いているファスナーを開いた状態で、シートのラインに合わせカバーをかぶせます。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行って下さい。



- 5 入れ込んだ生地をシート後ろ側から引き出します。



- 6 カバーの加工穴から、生地の伸びを利用して、ヘッドレストの台座を取り出します。
※次の説明は、19番以降を参照して下さい。

品番 : 5313



- 7 カバー上面に付いているブラフックとマジックテープを外し、ヘッドレストを取り出す為の加工穴を開いた状態にします。図の○部は、8番の工程での注意箇所となります。



- 8 シートにカバーをかぶせます。加工穴からヘッドレストを取り出す際、図の橙色で示した位置に負荷が掛かります。生地が裂けないよう、慎重に作業して下さい。また、図の赤色で示したブラフックでヘッドレスト背面側の樹脂パーツに傷を付けないよう注意して下さい。



- 9 ヘッドレストを加工穴から取り出した状態です。ヘッドレストの最大幅位置が生地への負荷が最も大きくなりますので、慎重に作業して下さい。



- 10 カバー両側面に付いているファスナーを開いた状態で、シートのラインに合わせカバーをかぶせます。



- 11 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行って下さい。



- 12 入れ込んだ生地をシート後ろ側から引き出します。



- 13 ヘッドレストを一番上まで上げた状態で、カバーを固定します。始めに、カバー左右に付いているマジックテープ同士を貼り付け固定します。



- 16 ブラックの固定方法は、カギ状になっているプラスチックに、板状のプラスチックの付いた生地を、生地ごと巻き込むように折り返し、挟み込みます。



- 14 カバー後ろ側に付いているブラックを、ヘッドレストの軸の間を通し、前側から取り出します。



- 17 ヘラ等を使用し、ヘッドレストの台座の隙間に生地を入れ込みます。



- 15 取り出したブラックを、カバー前側の板状のプラスチックパーツで固定します。ブラックの固定方法は、16番を参照して下さい。



- 18 全ての台座の隙間に生地を入れ込みます。赤色で示した位置は、ヘッドレストを取り出しやすくする為に、加工穴を空けています。この為、台座部分に生地が入り込めない、または、入れ込んだ生地が出てくる事があります。予めご了承下さい。



注意

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。

品番：5312・5313共通



- 19 5ページの1番で取り外した生地を、カバーの内側へ入れ込みます。



- 20 カバー両側面のファスナーを、生地同士を内へ寄せながら閉じます。



- 21 図の①～③の順番に側面の生地をシートに馴染ませるようにしながら、カバーのラインを整えます。③の工程で下側に生地のだるみが出た場合は、5番または12番の手順を繰り返して下さい。

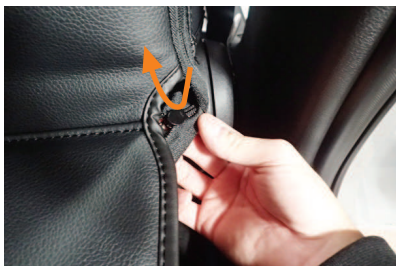


- 22 5番または12番で引き出した生地と背もたれ背面の生地を、マジックテープで固定します。



注意

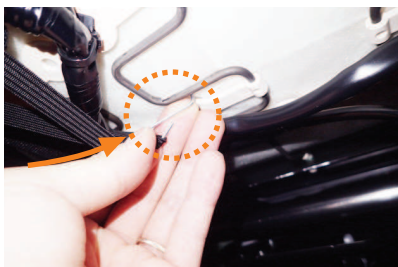
サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。



- 23 20番で閉じたファスナーの先端を、カバーの内側へ入れ込みます。
ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 24 カバー背面の生地についているゴムに、付属の金属フックを取り付けます。



- 25 金属フックを、シート底面の金属部分に引っ掛け固定します。



- 26 シート背面を正しく固定すると、このようになります。



- 27 品番 : 5312
サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。
カバーのラインを整え、1列目運転席背もたれの完成です。
助手席も同様に取り付けます。



- 28 品番 : 5313
サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。
カバーのラインを整え、1列目運転席背もたれの完成です。
助手席も同様に取り付けます。



- 29 品番 : 5313
正しくカバーを装着すると、ヘッドレスト台座部は、このようになります。

Step 3

2列目座面の装着方法

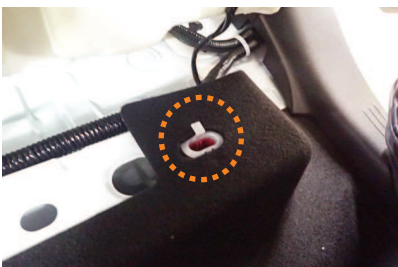
※シートを車体から取り外す必要があります



- 1 始めに、シートを車体から取り外します。シートは、図の○位置に固定用金具で固定されていますので、固定部分を真上に引き上げるようにして、金具を外します。先に、2～3番の説明で固定具の形状を確認してからシートを取り外して下さい。



- 2 図は、シートの裏側です。○部分(1番の○位置の裏側)に固定用金具が付いています。



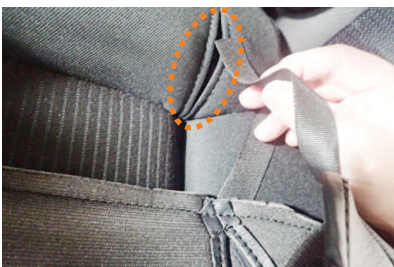
- 3 図は、車体側に付いている金具を固定する台座です。2番で説明した固定用金具が台座にはまる事で、シートが固定されています。



- 4 2か所の固定用金具を外すと、シートの前側を浮かせる事が出来ます。この状態で、矢印方向にスライドさせると、シートが車体から外れます。この際、シートベルトバックル(図の○位置)を、シート裏側から抜き出しておきます。



- 5 シート裏には配線が繋がっている為、この状態で作業を行います。シートのラインに合わせて、カバーをかぶせます。



- 6 シートのISOIXチャイルドシート固定フック取り付け位置(図の○部)に、カバーに付いているベルトを通します。※計4か所



- 7 6番で通したベルトを、シート裏側から引き出します。



- 10 9番で折りたたんだ生地の上からカバーをかぶせ、カバー後ろ側に付いているマジックテープを、シートに直接固定します。



- 8 シートには、図のようなシート背面を覆う為の生地が付いています。カバー装着後は、この生地は使いませんので、折りたたんで、上からカバーをかぶせます。
※生地が付かない車両もあります。その場合、この作業は必要ありません。



- 11 10番で固定した位置の側面にもマジックテープが付いていますので、同様にシートに直接固定します。



- 9 生地は矢印方向に二つ折りにして下さい。



- 12 シートベルトバックル収納部の形状に合わせて、カバーのラインを整えます。



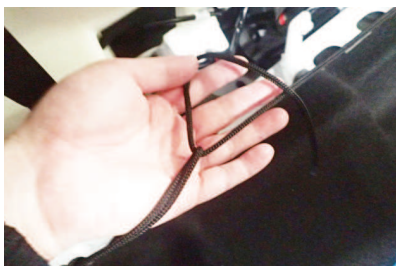
- 13 12番でカバーのラインを整えた後に、カバー後ろ側に付いているマジックテープをシートに直接固定します。



- 16 ヒモの固定方法は、始めに、一方のヒモで図のような輪を作ります。



- 14 図の①～⑥の位置には、カバーの裏側にベルトが付いています。



- 17 次に、もう一方のヒモを、作った輪に通し引っ張る事で、カバーの下回りが絞られますので、カバーのラインを整えながら、適度な位置でヒモを結び留めます。



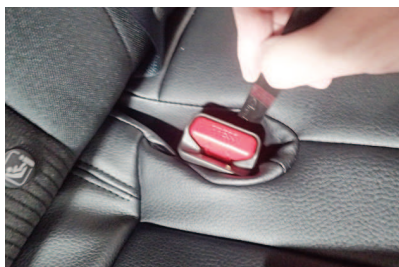
- 15 シートを起こした状態で、カバー裏側で①～⑥のベルトをカバー前側のバックルに固定します。

シートを車体に戻す際に、車体側に干渉する事を考慮し、ベルトは少しゆとりを持たせるように固定して下さい。

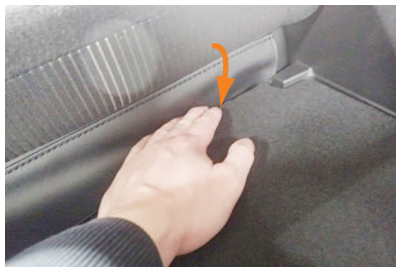
次に、カバー両端に付いているヒモ同士を結び留めます。(図の○位置)



- 18 シートを車体に戻します。シートベルトバックルをシートの下側から取り出す際は、カバー装着による生地の厚みが原因で、取り出しにくくなっていますので、図のようにシートベルトをバックルに固定した状態で引っ張り出すようにして下さい。



- 19 取り出したシートベルトバックル周りの生地をヘラ等を使用し、シートのラインに合わせて整えます。



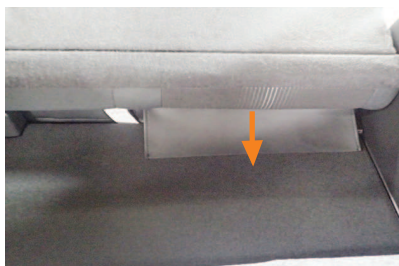
- 22 取り出した生地を、シートとバックボードの隙間に入れ込みます。バックボードを少しずらすと作業がしやすくなります。



- 20 シートベルトバックル周りには、このようになります。



- 23 生地を入れ込むと、このようになります。



- 21 シートの後ろ側から、カバーに付いている生地を取り出します。この生地は、8番でカバーに入れ込んだシート背面を覆う生地の代わりとして使用します。
※ラゲジスペースの形状によっては、後ろ側から生地が引き出しにくい場合があります。その際は、シート前側から生地を入れ込むようにして下さい。



- 24 カバーのラインを整え、2列目座面の完成です。

Step 4

2列目背もたれの装着方法

※運転席側シートで説明します



- 1 中央席シートベルトの内側にカバーを通しシートを左右から覆うように、前側から後ろ側へカバーをかぶせ、シートのラインにカバーを馴染ませます。
※次の工程をスムーズにする為に、この作業で、カバーをシートのラインにしっかり馴染ませて下さい。



- 2 カバーの加工穴から、アームレストを取り出します。



- 3 カバー背面のファスナーを、生地同士を内へ寄せながら閉じます。
※シートのラインからカバーがずれているとファスナーの根本部分（図の○位置）が届きませんので、1番の工程でシートのラインを整えて下さい。



- 4 背面のファスナーを閉じ、カバーのラインを整えます。
※チャイルドシート固定用アンカー部（図の○位置）に、カバーの加工穴が合っているか確認して下さい。



- 5 カバーの加工穴から、生地の利用して、ヘッドレストの台座を取り出します。



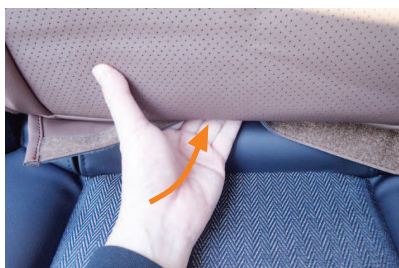
- 6 ヘラ等を使用し、中央席シートベルトの台座のフチに生地を入れ込みます。



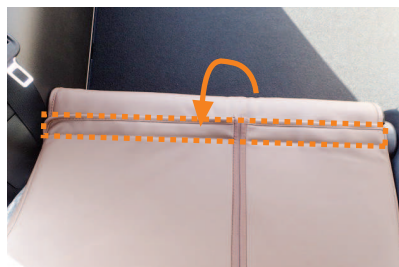
- 7 中央席シートベルトの台座部は、このようになります。



- 8 シート肩口のリクライニングレバー部と、カバーの加工穴の位置を合わせます。
※リクライニングレバー部は、隙間が狭く生地が入れ込めない為、このような仕上がりになります。



- 9 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行って下さい。



- 10 入れ込んだ生地をシート後ろ側から引き出し、背もたれ背面の生地と、マジックテープで固定します。
4番で閉じたファスナーの先端を、カバーの内側へ入れ込みます。



- 11 シートを車体に固定するロック部に、カバーが干渉しないよう、カバーに付いているマジックテープ（図の□位置）を、ロック部をかわすようにして、シートに直接固定します。

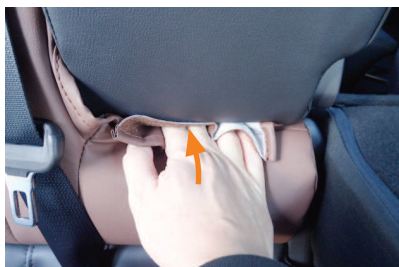


- 12 ヘラ等を使用し、アームレスト側面のプラスチック部の隙間（図の矢印部）に生地を入れ込みます。
※プラスチック部の角位置に生地を入れ込むようにします。生地の全てを隙間に入れ込む仕様ではありません。

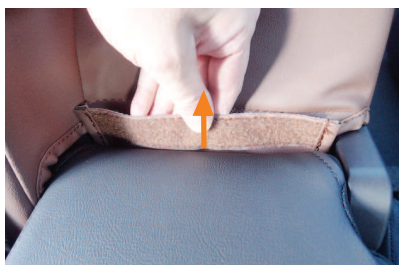
Step 5

ヘッドレストの装着方法

※ 1 列目ヘッドレスト (品番 : 5312)



- 13 アームレスト下部の隙間に生地を入れ込みます。アームレストを前後に動かしながら作業をすると、生地が奥に入れ込みやすくなります。



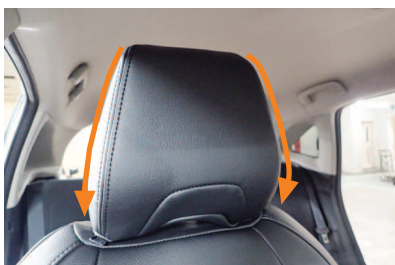
- 14 アームレストを倒した状態で、入れ込んだ生地を隙間から取り出し、カバーに付いているマジックテープ同士を固定します。



- 15 カバーのラインを整え、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も一部形状が異なりますが、同様に取付けます。



- 1 カバーの前後を確認し、ファスナーを開いた状態で、カバーを裏返してヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりかぶせて下さい。



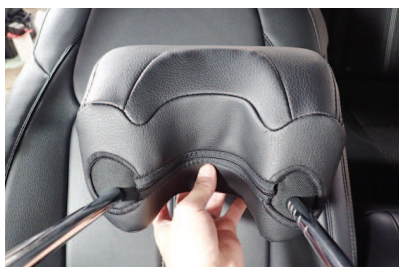
- 2 ヘッドレストのラインからずれないようにカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 3 ヘッドレストをシートから取り外し、カバー底面のファスナーを、生地同士を内へ寄せながら慎重に閉じます。
無理にファスナーを閉じようとすると、ファスナーの破損や生地が破れる恐れがありますので注意して下さい。



- 4 閉じたファスナーの両端は、カバーの内側へ入れ込みます。



- 5 ファスナーを正しく固定すると、このようになります。

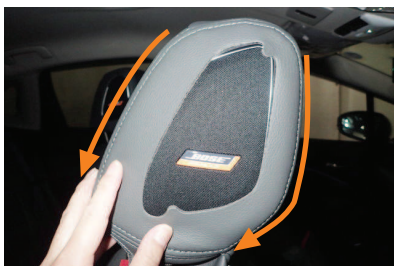


- 6 カバーのラインを整え、1列目ヘッドレストの完成です。

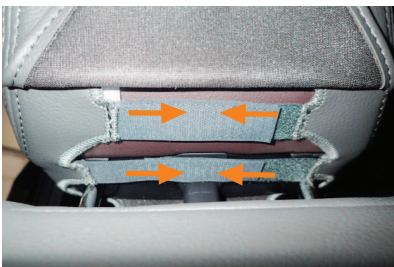
※1列目ヘッドレスト（品番：5313）



- 1 カバーの前後を確認し、半分ほど裏返した状態で、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。板状のプラスチックパーツが付いている方が前側です。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりかぶせて下さい。



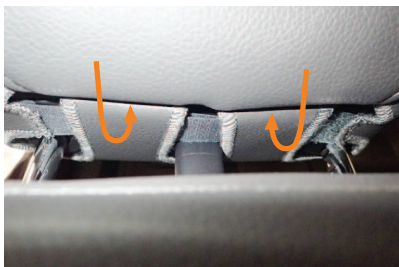
- 2 ヘッドレストのラインからずれないようにカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。ヘッドレスト側面のスピーカーに注意し、慎重に作業を行って下さい。



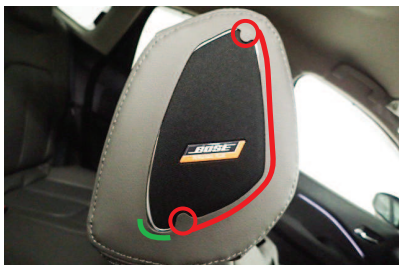
- 3 ヘッドレストを一番上まで上げた状態で、カバーを固定します。始めに、カバー底面のマジックテープを、生地同士を内へ寄せながら固定します。



- 4 カバー後ろ側に付いているブラフックを、ヘッドレストの軸の間を通し、前側から取り出します。



- 5 取り出したブラフックを、カバー前側の板状のプラスチックパーツで固定します。ブラフックの固定方法は、22ページ5番を参照して下さい。



- 6 ヘッドレスト両側面のスピーカー周りに、カバーの加工穴が一致するようにカバーのラインを整えます。加工穴の上下にある凸部分から前側方向（図の赤線位置）の生地は入れ込みます。赤線位置から後ろ側には隙間が無い為、生地は入れ込まない仕様となります。緑線位置から樹脂パーツが見える場合は、3番で固定したマジックテープの引っ張り加減を調整して下さい。



- 7 カバー両側面のスピーカー周りのラインを整え、1列目ヘッドレストの完成です。

※2列目ヘッドレスト



- 1 2列目ヘッドレストは、前側から後ろ側へかぶせていきます。板状のプラスチックパーツが付いている方が前側です。



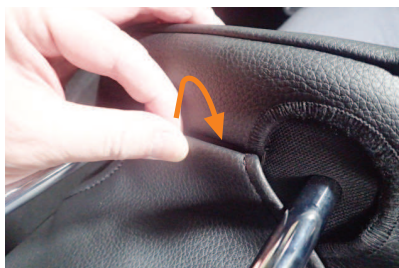
- 2 ヘッドレストのラインからずれないようにカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。ヘッドレストの角にカバーをかぶせる際はヘッドレスト本体のクッションを押し込みながらカバーをかぶせるようにします。無理にかぶせようとすると、生地が破れる恐れがありますので、注意して下さい。



- 3 ヘッドレストをシートから取り外し、カバー底面のマジックテープを、生地同士を内へ寄せながら固定します。



- 6 ブラックを正しく固定すると、このようになります。



- 4 次に、ヘッドレスト前後の生地についているブラックを固定します。



- 7 カバーのラインを整え、2列目ヘッドレストの完成です。



- 5 ブラックの固定方法は、カギ状になっているプラスチックに、板状のプラスチックの付いた生地を、生地ごと巻き込むように折り返し、挟み込みます。



- 8 2列目中央席ヘッドレストも同様に取り付けます。

Step 6

アームレストの装着方法



- 1 カバーの形状を確認し、カバーを半分程度裏返した状態で、アームレストのラインに合わせてかぶせます。アームレストの先端まで生地が張るようにしっかりかぶせて下さい。



- 2 アームレスト下部の隙間に生地を入れ込みます。アームレストを前後に動かしながら作業をすると、生地が奥に入れ込みやすくなります。



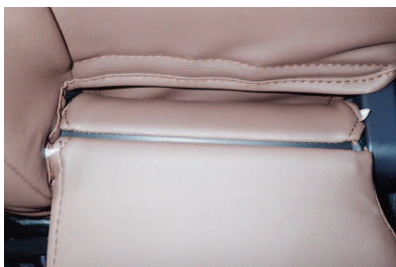
- 3 アームレストを倒した状態で、入れ込んだ生地を隙間から取り出します。



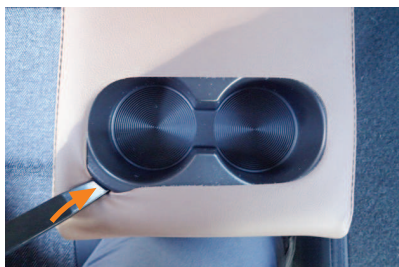
- 4 取り出した生地に付いているブラックをカバーのもう一方に付いている板状のプラスチックパーツで固定します。ブラックの固定方法は、5番を参照して下さい。



- 5 ブラックの固定方法は、カギ状になっているプラスチックに、板状のプラスチックの付いた生地を、生地ごと巻き込むように折り返し、挟み込みます。



- 6 ブラックを正しく固定すると、このようになります。



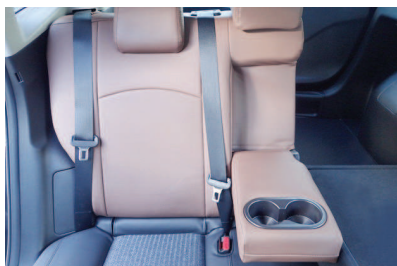
- 7 ヘラ等を使用し、カップホルダーの隙間に生地を入れ込みます。



- 10 アームレスト収納時
※生地の厚みにより、アームレストに少し浮きが出る場合があります。
予めご了承下さい。



- 8 ヘラ等を使用し、アームレスト側面のプラスチック部の隙間に生地を入れ込みます。
※隙間が狭くなっていますので、慎重に作業して下さい。



- 11 アームレスト使用時
※アームレスト収納部（背もたれ側）にシワが出やすくなります。このシワは、カバーの特性上、解消出来ないシワとなります。
予めご了承下さい。



- 9 カバーのラインを整え、2列目アームレストの完成です。

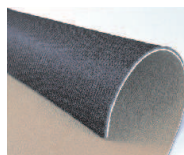


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。
長時間放置しておくとうれやシミが取れなくなります。
表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となる為しっかりと乾燥させてください。

※デニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL. 072-330-8000 FAX. 072-330-8816